

平成23年度 小野高校学校中間評価アンケートの平均値

アンケート実施日 平成23年7月20日

対象と有効回答数 生徒 874名 教員 47名

解答方法

④あてはまる ③おおむねあてはまる ②あまりあてはまらない ①あてはまらない @わからない

平均値

④を4点、③を3点、②を2点、①を1点、@は除外して算出

a 3.2以上

b 2.5以上

c 1.8以上

d 1.8未満

比較項目

		教員	生徒	平均値	評価
1	1 授業研究や授業アンケートなどを実施し、授業改善に積極的に取り組んだ。	2.9			b
	1 授業に満足している。	3.0			b
	2 授業が理解できている。		2.7		b
2	2 朝の学習は学習習慣の定着に効果がある。	3.1			b
	3 朝の学習は学習習慣の定着に効果がある。		2.6		b
3	3 課題の提出はきっちりと指導している。	3.2			a
	4 課題は遅れずにきちんと提出している。		2.8		b
4	4 補習は学習効果がある。	3.3			a
	6 (3年生のみ)放課後補習は学習効果がある		3.0		b
5	7 第1志望届は進路指導に役立っている。	3.3			a
	7 (2, 3年生のみ)第1志望届は進路決定に役立っている。		3.0		b
6	8 部活動が熱心に行われ、学習との両立もできている。	3.1			b
	10 部活動を熱心に行ない、学習との両立ができている。		2.7		b
7	9 生徒の服装容儀はしっかりしている。	3.0			b
	12 校外においても、挨拶や服装はきちんとしている。		3.4		a
8	10 マナーアップ運動やあいさつ運動はその目的を達成している。	2.9			b
	11 マナーアップ運動やあいさつ運動はその目的を達成したと思う。		2.6		b
9	11 講演会や生き方HRを通じ、生徒の人権意識が高まった。	3.1			b
	13 講演会や生き方HRを通じ人権意識が高まった。		3.3		a
10	17 インターンシップは、キャリア教育の推進に成果があった。	3.3			a
	14 (参加者のみ)インターンシップは、キャリア教育の推進に成果があった。		3.3		a
11	18 小中または大学との連携事業は教育効果があった。	3.3			a
	15 (参加者のみ)小中または大学との連携事業は成果があった。		3.4		a

個別項目

12	5 学力不振者への指導が十分にされている。	教員	2.7		b
13	6 学力・進路に応じた個別指導が十分にされている。	教員	2.9		b
14	12 国際交流の行事は、その目的を達成している。	教員	2.9		b
15	13 教育相談は、その目的を達成している。	教員	3.1		b
16	14 双方向性を考慮した緊急連絡体制が確立できている。	教員	3.0		b
17	15 避難訓練等を実施して、危機管理に対する教職員の意識が高まった。	教員	2.9		b
18	16 今回の中間評価は今後の教育活動の活性化に役立った。	教員	2.8		b
19	19 地元企業と連携し商品開発や地域の課題の調査研究活動は成果があった。	教員	3.5		a
20	5 平日(月から金)の家庭学習の時間は ④4時間以上 ③3時間 ②2時間 ①1時間	生徒	2.2		c
21	8 主任面談や担任との面談は進路指導に役立っている。	生徒	3.1		b
22	9 遅刻の回数は月に何回程度ですか。 ④0回 ③1回 ②2回 ①3回以上	生徒	4.0		a